資料３－１

◆重点戦略の考え方

１　目的

○札幌市が抱える重要な社会的課題に対して戦略的に対処することにより、新たに位置づける「都市像」や「まちづくりの基本目標」を実現すること。

２　意義

○「選択と集中」により、効果的・効率的に課題解決に取り組むことができる。

○今後、特に力を入れて取り組むべき施策・事業を、パッケージ化し可視化することにより、行政と市民・企業等との共有が図られるとともに、パートナーシップが促進される。

３　テーマ選定における視点

○「まちづくりの基本目標」において、地域と経済に極めて密接につながっている「安全・安心」、「次世代」、「創造・文化」、「環境・エネルギー」の４つの重要性の高い分野からテーマを選定する。

○また、各分野からテーマを選定する際は、戦略性の視点をもって選定する。

重要性	○様々な社会的課題のもと、市政における重要性が特に高いと判断される「安全・安心」、「次世代」、「創造・文化」、「環境・エネルギー」に関するテーマであること
戦略性	○部門別計画を横断する取り組みなど複合的な政策展開が想定できること ○機軸となる取り組みから他分野への高い波及効果が期待できること ○新たな視点を取り入れた政策展開が想定できること

４　掲載内容

○「市民との共有」の観点に十分配慮した分かりやすいストーリー性が求められることから、テーマごとに①現状と課題、②10 年間に行うべき戦略、③各主体の役割 などを掲載する。

５　期間の考え方

○10 年間（H25～H34）にやるべき戦略ではあるが、ある程度長期間を想定した基本目標に対応するため、10 年を超える期間を見据えた戦略を立てる。

＜例＞①10 年間での実現を目指すこと、②20 年後を見据えて 10 年間で準備すべきこと　など

６　実効性の確保

○戦略の実効性を確保するため、新まちづくり計画等へ位置づけるとともに、必要に応じて、庁内組織の見直しを行い、重点戦略の遂行体制を強化する。また、計画策定後においても、進捗管理・検証・見直しを適宜実施していく。